



深谷赤十字病院の屋上から見る初日の出 [撮影日：令和2年元旦]

TOPIC

“新春のあいさつ”

伊藤 博 院長 P.1



CONTENTS

- 第 15 回地域医療連携懇談会 P.3
- 医療機器紹介 P.4
- 診療科紹介（放射線診断科） P.5
- 新任医師紹介 P.6
- 放射線被ばく相談員の紹介 P.6
- 地域医療連携だより P.7
- INFORMATION



新春インタビュー

院長 伊藤 博

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

Q. 昨年を振り返っていかがでしたか。

A. 昨年は、9月の台風15号、10月の台風19号と二つの大きな台風が関東地方に上陸しました。台風15号では、特に千葉県で倒木・停電の被害が大きかったため、地域災害拠点病院としての役割に鑑み、当院からもDMATと赤十字救護班を派遣しました。

また、台風19号では、埼玉県を含む13都県に大雨特別警報が発令され、埼玉県北部地域でも多くの住民が避難を余儀なくされました。当院では、災害対策本部を設置し、被災傷病者の受け入れに備えましたが、幸いにも来院はありませんでした。

今後も、巨大台風などの大災害に備え、地域全体で防災、災害対策に取り組むことが重要であり、当院も万全の体制を備えて参ります。



Q. 今年は創立70周年を迎えますね。

A. はい、今年の11月1日に創立70周年を迎えます。当院の前身は公立深谷病院でしたが、深谷市から日本赤十字社へ移管され、昭和25年11月1日に深谷赤十字病院として内科・外科・放射線科の3科、病床数60床で始まりました。

初代院長の神山定治先生に続いて、高木紹夫先生、奈良林定先生、宮内好正先生、井村价雄先生、諏訪敏一先生が院長に就任され、平成25年4月1日より私が7代目として就任いたしました。

70周年の記念事業として、記念誌の発行と、『ヒポクラテスの木』の植樹を行いたいと考えております。

Q. 『ヒポクラテスの木』とは何ですか。

A. 足利赤十字病院の新病院竣工式にこの木の記念植樹が行われ、院長の小松本先生がこの話を記事にされておりましたので、それを参考に述べさせてもらいます。

医学の父と称される古代ギリシアのヒポクラテス（BC460～BC375）は、彼の生まれ故郷であるコス島にあったプラタナスの大樹の陰で、弟子たちに医学を教えたという伝説があります。

昭和46年（1971年）に東京大学の緒方富雄先生が「ヒポクラテスの木友の会」を作り、コス島に由来する『ヒポクラテスの木』の日本株の保護育成を行ったそうです。

『ヒポクラテスの木』の系譜には9系統ありますが、そのうちの一つである日赤株は、昭和52年（1977年）の日本赤十字社創立100周年記念に、ギリシャ赤十字より挿し木苗24本が贈られ、全国の赤十字施設に配付されました。

そして、緒方富雄先生の記録を見ますと、昭和55年（1980年）に当院にもこの木が植樹され、育っている様子が記載されているため、私自身で当院の敷地を散策し探してみましたが、残念ながら見当りませんでした。



日本赤十字社 本社敷地内の『ヒポクラテスの木』

おそらく現病院の建替えの際に、そのような由緒正しい木とは認識されずに伐採されたのではないかと思われます。

このような経緯もあり、足利赤十字病院と同様にこの木の記念植樹を行いたいと考え調べたところ、40年程前に配付された『ヒポクラテスの木』が、同じ県内の小川

赤十字病院の正面玄関近くで大木となって育っていることを知ったため、これを少し分けてもらい、現在育成中です。

Q. 最後に一言お願いします。

A. 今年4月に診療報酬改定を控え、当院の経営状況も決して芳しいものではありませんが、救急医療、がん診療、周産期医療など幅広い医療を担う埼玉県北部で唯一の公的総合病院であることの重責を受け止めつつ、地域住民と医療機関の先生方の信頼を得るべく、医療の質の向上に日々努めて参る所存です。

本年も、深谷赤十字病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。



～第15回地域医療連携懇談会～

令和元年10月23日(水) 18時45分より、埼玉グランドホテル深谷にて「地域の医療機関の先生方との顔の見える関係づくり」をスローガンとした第15回地域医療連携懇談会を開催しました。

80名の連携医療機関の先生方に参加していただき、当院の医師を始めとする職員と合わせて157名の盛大な会となりました。

当院の診療への理解をより深めていただくために、歯科口腔外科の小山知芳歯科医師から「歯科口腔外科の活動報告 ～ARONJについて～」を行い、また、特別講演では、脳神経外科部長の大谷敏幸医師による「深谷赤十字病院における脳外科手術および脳血管内治療の現状」の講演を行いました。

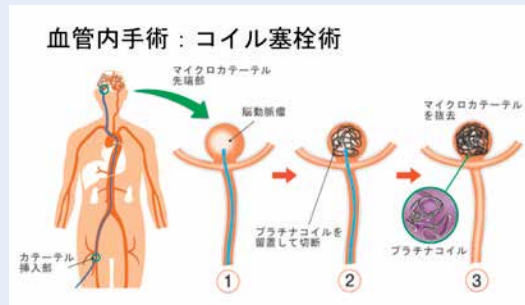


歯科口腔外科・小山知芳 歯科医師

ARONJに対する治療		
AAOMS, 2009.		
病期	病態	処置
潜在的リスク	BPの投与を受けている	・患者教育と歯科検診
Stage 0	非特異的な臨床症状	・患者教育、歯科検診、抗菌剤の投与 ・洗口剤、局所の洗浄(イソジン) ・3ヶ月ごとの経過観察(外科処置は行わない)
Stage 1	無症候性骨露出・骨壊死	・患者教育、口腔ケア
Stage 2	疼痛を伴う骨露出・骨壊死	・広域経口抗菌剤、鎮痛剤使用 ・洗口剤、洗浄 ・軟組織を刺激する壊死組織の表層除去
Stage 3	疼痛、感染、病的骨折、皮膚瘻孔、下顎下縁に及ぶ骨融解を伴う骨露出・骨壊死	・鎮痛剤使用 ・洗口剤、洗浄 ・抗菌剤の使用(経口、静注) ・壊死骨の外科的除去、区域切除など



脳神経外科・大谷敏幸 部長



情報交換会では、伊藤院長の進行による各診療科の医師紹介を行うなど、当院と連携医療機関の先生方との懇親が図られました。

今後とも、地域との連携をより一層推進してまいりますので、ご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



会場の様子



秩父郡市歯科医師会
平沼会長のご挨拶



本庄市児玉郡医師会
高橋会長のご挨拶

医療機器紹介「血管撮影装置」

2019年12月末、当院では島津製作所製の最新鋭の血管撮影装置『Trinias (トリニアス) B8』を導入しました。

また、装置の更新に伴い、血管撮影室を広々とした明るい空間にリニューアルしました。

当院では、特に心臓に関する先進のカテーテル治療に取り組んでおります。近年の複雑化・高度化している血管内治療における、被ばくの低減・造影剤の削減・検査時間の短縮を最新鋭の血管撮影装置の導入により実現し、安心してカテーテル検査・治療を受けていただけるようになりました。



<血管撮影装置で行われる検査と治療について>

狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患は、冠動脈の狭窄や閉塞によって心臓の筋肉への血液の供給が不足し胸痛などの症状をきたす疾患です。特に急性心筋梗塞では、命に関わることもあり、迅速で適切な治療が重要です。このような疾患の治療法のひとつとして、心臓カテーテル（細長い管を血管内に通した）治療があります。

心臓カテーテルを用いてカテーテルについた風船を膨らませるバルーン治療、金属でできたステントの挿入などで血管を拡張する治療を行ないます。血管撮影装置は、カテーテルを用いて血管を描出する検査や、狭窄した血管内の治療に使用されるX線撮影装置です。



<被ばく低減が実現可能なシステム>

最良の診断治療を行うためには、高画質な画像が必要となりますが、通常X線による高画質イメージを追求すると、X線線量が増加し被ばくが問題となります。高画質の追求と被ばくの低減というこの相反する問題があります。

当院に導入した島津製作所製『Trinias B8』は、高画質をできる限り低いX線線量で撮影することを目標とし、被ばく低減を実現しつつ、従来の高画質を維持したX線血管撮影装置です。また、今回導入した血管撮影装置は、2方向からの撮影が可能な“バイプレーン装置”を採用しています。2つのCアームを利用して一度の撮影で2方向から透視・撮影を行うため、従来の装置であったCアームが1つのシングルプレーンタイプと比較して造影剤を低減することができ、さらにより短い時間で検査をすることが可能です。

<最新の画像処理技術を搭載>

心臓カテーテルによる血管内治療では、冠動脈内に特殊金属でできた非常に薄いステントを留置します。

この際に、心臓の拍動にて大きく動く冠状動脈を、透視・撮影画像で明瞭に見ることが難しい症例も多いのですが、導入した本装置には、SCORE StentView という画期的な機能を有しています。心臓の拍動で動く画像からリアルタイムでステントの情報を取得して、視認性を向上させながら、ステントをより正確に確実に植え込む事が出来るようになりました。

放射線診断科部長 榎本 京子

Q. 画像診断にはどんな検査がありますか。

A. エックス線を使う検査から紹介します。単純撮影では胸、お腹、頭や全身の骨の写真を撮ります。CT検査は、身体を輪切りにして中を詳しく視ることができます。血管造影検査では、体の中の血管に直接造影剤という薬を入れて血管の状態を調べます。胃や大腸を視る消化管検査や、乳房の病気を調べるマンモグラフィーは、健康診断でもお馴染みです。いずれの検査でも使用する放射線は少ない量ですので、健康に影響することはありません。

エックス線を使わない検査の代表は、超音波検査とMRIです。

MRIはCTと同じ様に身体を断面に分けた画像で詳しく視る事が出来ます。脳ドックでは微細な脳梗塞や脳動脈瘤を見つける事が出来ます。

ラジオアイソトープを使うRI検査では、体内に入れた微量のアイソトープが病気の部分に集まる事で、他の検査では発見できない病気を見つける事が出来ます。CTと組み合わせたPET CTが検診分野で活用されています。

**Q. どのような治療に役立ちますか。**

A. 画像診断検査を受けて、病気があるかどうかを確認します。もし病気が見つかった場合、治療が必要か経過観察で良いのかを判断する基準になります。治療が必要な病気で、例えば外科的に手術が必要な場合には、手術前にどこまで病気の部分を取るか、周りの臓器が病変と離れているか、他の臓器に異常が無いかなどを確認することが出来ます。画像診断は手術前には欠かせません。

治療中の患者さんで、病気の経過を見る時（フォローアップといいます。）にも、画像検査は客観的に比較が出来るので、本人やご家族にも病気の現状がわかりやすく説明することができます。

血管造影検査では、検査と同時に血管の病気を治療することも多くあります。心臓や脳血管、胸部、腹部、下肢血管などで血管の狭い部分を拡張したり、出血を止めたり、動脈瘤や腫瘍血管を閉塞させるなど広く治療に用いられています。

Q. 検査機器の共同利用では、どのような検査が出来るのですか。

A. 血管造影検査を除いて外来で検査が出来ます。CT検査、MRI検査はほとんどが30分以内で検査が終了します。RI検査では、アイソトープが体内に十分取り込まれるまで2～3時間待つことがあります。検査によっては、前日や当日の食止め、造影剤という薬を静脈から注射する場合があります。検査後は特に注意は必要ありません。

当院では、最新鋭の検査機器を複数設置していますので、短時間で苦痛なく検査を受けることが可能です。

Q. 地域の先生方に向けて一言お願いします。

A. 検査にはそれぞれ特徴があり、疾患ごとに最適な検査を選択する必要があります。また患者さんによっては禁忌検査もあります。もし疑問がございましたら、連携室あるいは放射線科にご連絡をいただき、一緒に検討しながら最適な検査予定を組めるようにしていきたいと思っております。

繰り返しになりますが、当院では最新鋭の検査機器が複数揃っておりますので、急な検査依頼対応、微細病変の描出や性状評価が可能です。検査読影結果は、原則翌日にお返ししております。

どうぞよろしくお願いたします。

新 任 医 師 紹 介



(名 前) 山田 健志 (診療科) 精神科 (副部長)
(出身大学) 福島県立医科大学 (趣味) 写真、スキー
(抱 負) 2007年から東京都健康長寿医療センター精神科・物忘れ外来を経て、2010年からがん研有明病院で、周術期のせん妄や、化学治療に伴う気持ちのつらさや不眠などのコンサルテーション・リエゾン精神科の仕事をしていました。
週末に秩父の花や星空の撮影のほか、群馬や長野に滑りに行くことが多いです。
よろしくお願い申し上げます。

放射線被ばく相談員』の紹介



当院の放射線科には、『放射線被ばく相談員』の認定資格を持った診療放射線技師が3名在籍しております。

あまり馴染みのない資格だと思われるので、今回を機に知っていただき、皆様の不安や悩みなどを少しでも解消できるよう取り組んでいきたいと考えております。

Q. 『放射線被ばく相談員』とは何ですか。

- A. 2011年3月11日に発生した東日本大震災による原子力発電所の事故があり、放射線被ばくによる不安を抱えた方が、身近にいらっしまったことと思われます。
実はもともと、診療放射線技師は、患者さんに対して放射線被ばく相談を実施していたのですが、そのような状況の中、「人々の医療被ばくと災害時の放射線被ばくによる不安を解消したい」という考えから、2014年に誕生したのが『放射線被ばく相談員』です。

Q. 『放射線被ばく相談員』は、どのようなことをするのですか。

- A. 私たち『放射線被ばく相談員』は、CT検査や消化管透視検査を受け、放射線被ばくによる不安を抱えている方に対し、放射線の基礎知識や放射線被ばくと健康影響についてご説明しています。
そのような方々の放射線被ばくによる不安を解消し、安心して頂くことが、放射線被ばく相談員の目標です。

Q. 今後に向けて一言お願いします。

- A. 現在は、当院で放射線検査をした患者さんや、放射線被ばくの不安を抱えている当院の医療従事者を対象として、放射線被ばく相談を実施しております。
しかし、近隣の医療機関で検査を行い、放射線被ばくによる不安を抱えている患者さんもいらっしやると思いますので、そのような方々が不安を抱えてお困りでしたら、当院の放射線被ばく相談員が丁寧に対応したいと考えております。
被ばく相談をご希望の方がいらっしやいましたら、当院の放射線科までお気軽にご連絡下さい。

<地域の皆様へのご案内>

当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科5,500円・歯科3,300円）のご負担がなくなります。

連携医療機関のご紹介

熊谷外科病院

住所 〒360-0023 熊谷市佐谷田3811-1
電話 048-521-4115
院長 山崎哲資
診療科 内科、循環器内科、消化器内科、脳神経外科、外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、肛門科、リハビリテーション科
休診日 土曜午後、日曜、祝日
診療時間 (午前) 9時～12時
(午後) 1時～5時



院長先生からのメッセージ

「当院は、長きにわたり外科系及び内科を中心に診療して参りましたが、診療の充実を図るべく、県北では数少ない形成外科への常勤医師の迎え入れや、地域包括ケア病棟の開設を行いました。新年からは訪問看護を開始致します。これからも地域の皆さんに貢献できる医療を目指します。

原歯科医院

住所 〒366-0052 深谷市上柴町西3-17-18
電話 048-573-9333
院長 原 一雄
診療科 歯科、小児歯科、口腔外科
休診日 木曜、日曜、祝日
診療時間 (午前) 9時30分～13時
(午後) 2時30分～7時（土曜は6時まで）



院長先生からのメッセージ

当地に開院して30年余りが経ちました。乳幼児から大人までの一般歯科治療を行っております。今後も、深谷赤十字病院との連携を図りながら、地域に密着し、丁寧な診療を心掛けていきたいと思っております。

地域医療連携だより



深谷赤十字病院は地域との 医療連携に努めています。

初期診療や慢性の継続診療などは、「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行うことで、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

連携医療機関のご紹介

金子医院

住 所 〒369-0201 深谷市岡2738
電 話 048-585-2828
院 長 金子雄輔
診 療 科 内科、小児科、循環器科、胃腸科
休 診 日 日曜、祝日、木曜午後、土曜午後
診 療 時 間 (午前) 9時～12時
(午後) 3時～6時



院長先生からのメッセージ

地域に密着した親しみやすい診療所であることを目指して、患者様が適切な医療を受けられるように、専門病院との連携、常に新しい医療知識の導入に努め、患者様の要望や不安な気持ちを考えた診療を心がけております。

久保医院

住 所 〒367-0032 本庄市栗崎113
電 話 0495-71-7138
院 長 久保 淳
診 療 科 内科、循環器内科、糖尿病内科
休 診 日 水曜、日曜、祝日
診 療 時 間 (午前) 9時～12時
(午後) 2時30分～6時(土曜は5時まで)



院長先生からのメッセージ

2013年9月に開院し6年目になりました。睡眠時無呼吸検査、禁煙外来、花粉症の診療なども行っております。

院内フリースペースでは、足の計測インソール、各種セミナー、本の貸し出しなど、病気以外でも来られるような地域に密着した医院でありたいと思っております。お気軽にご相談ください。

インフルエンザ流行期が到来しました!!

自分と大切な家族を守るために、インフルエンザの予防法をご紹介します。

しっかり**手洗い**！
アルコール消毒は
効果的！
積極的に使おう！



うがいを忘れずに！



マスクを着用！
(鼻が出ていたら
意味がない。)



温度と湿度管理に
気をつけよう！
換気も大事！

22 ~ 25℃
50 ~ 60%



予防接種を受ける！



栄養課からの行事食おすすめレシピ — タンドリーチキン —

寒さも厳しくなってきました。今回おすすめするレシピは、当院のバレンタインデーの行事食「タンドリーチキン」です。カレーのスパイシーな香りが食欲をそそり、ピリッとした辛さで体も温まります。ご家庭でも簡単に作れますので、ぜひお試しください。

作り方

- ①鶏もも肉を1口大に切り、塩2gとこしょう少々で下味をつける。
 - ②生姜、にんにくを擦りおろし、Aを全て混ぜて調味液を作り、①の肉を漬けておく(1時間程度)。
 - ③オープン用のトレイにオリーブ油をひき、②とお好みの野菜を重ねるように並べ、200℃に温めておいたオープンで15～20分焼き完成。
- ☆お好みでレモンを添えるとさっぱりおいしくいただけます。



材料(4人分)

- | | | | |
|----------------------------|-------|-------|-----|
| 鶏もも肉…… | 300g | 塩…… | 2g |
| こしょう…… | 少々 | | |
| 生姜……… | 1かけ | にんにく… | 1かけ |
| プレーンヨーグルト… | 80g | | |
| A カレー粉…… | 3g | 塩…… | 2g |
| パセリ粉…… | 少々 | | |
| オリーブ油… | 大さじ1杯 | | |
| お好きな野菜… | お好みの量 | | |
| (今回は、赤ピーマン 80gしいたけ 40gを使用) | | | |



深谷赤十字病院

日本赤十字社

〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目8番地1
Tel 048-571-1511 (代)
<http://www.fukaya.jrc.or.jp/>

Vol.63 令和2年1月31日発行
編集発行: 深谷赤十字病院
広報・公聴委員会